

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福知山公立大学
設置者名	公立大学法人福知山公立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
地域経営学部	地域経営学科	-	2	18	20	40	13	-
	医療福祉経営学科	-			24	44	13	-
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/img/about/educational_info/document01.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福知山公立大学
設置者名	公立大学法人福知山公立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/information/information04/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	福知山市高等教育施策に関する特別顧問	2016.4.1～ 2020.3.31	組織運営体制のチェック機能
非常勤	任天堂株式会社相談役	2019.4.1～ 2020.3.31	組織運営体制のチェック機能
非常勤	同志社大学大学院教授	2016.4.1～ 2020.3.31	組織運営体制のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福知山公立大学
設置者名	公立大学法人福知山公立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学で開講するすべての授業科目について授業計画(シラバス)を作成し、年度当初に学生向けポータルサイト上で閲覧可能にしている。また、本学のホームページにも公表している。</p> <p>シラバスには授業形態、授業の概要、授業の到達目標、定期試験を除く全15回ないし30回の授業計画、準備学習(予習・復習等)の内容とそれに必要な時間、成績評価の方法と基準、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法、テキスト、参考書・資料等、卒業認定・学位授与方針との関連、メッセージ、教員との連絡方法、関連する実務経験が明記されている。</p> <p>シラバスは統一されたフォーマットにて作成し、教務委員会が記載内容を最終点検している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページ上で公表</p> <p>http://www.fukuchiyama.ac.jp/faculty/syllabus/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスにあらかじめ記載された成績評価の方法に基づき、当該科目の到達目標に照らして定期試験期間中に実施するペーパーテスト、レポート課題等により評価する。定期試験の実施にあたっては、本学試験規程及び定期試験実施細則に基づき厳格におこなっている。</p> <p>成績評価は100点満点で、履修放棄および59点以下は「不合格」、60点以上69点以下は「可」、70点以上79点以下は「良」、80点以上89点以下は「優」、90点以上は「秀」と評語で表している。</p> <p>学生には、学期ごとに成績を通知し、成績評価に対して疑問がある場合は、成績評価に関する異議申し立て期間が設けられており、申請することが可能である。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学では、GPA (Grade Point Average) による学業評価システムを客観的な指標として設定している。100点満点で、59点以下は0ポイント、60点以上69点以下は1ポイント、70点以上79点以下は2ポイント、80点以上89点以下は3ポイント、90点以上は4ポイントとし、各授業科目の単位数とグレード・ポイントとの積の総和を、当該学期に履修登録した各授業科目の単位数の合計で割った値である。 GPAについて、学生には4月当初に配付する「履修のてびき」に基づき教務委員会によるガイダンス時に説明している。また、本学ホームページ上でも公表している。 成績の分布状況については、添付資料「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す書類」により、把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページ上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/img/faculty/syllabus/04_evaluation.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定にあたっては、学則に規定している在学すべき年数とカテゴリーごとの卒業に必要な単位の要件を満たした上で、合計126単位以上を修得した者について、教授会が卒業資格を認定し、学長が学位を授与している。 地域経営学科は、共通教育科目の外国語科目群から6単位(必修4単位含む)、一般教養科目群の人文系社会系、自然系のそれぞれから6単位、演習系科目群から22単位(必修22単位)、専門教育科目の学部共通専門科目群から28単位(必修4単位、選択必修8単位含む)、学科別専門科目群32単位(選択必修12単位含む)、全カテゴリーから20単位、合計126単位を修得させることとしている。 医療福祉経営学科は、共通教育科目の外国語科目群から6単位(必修4単位含む)、一般教養科目群の人文系社会系、自然系のそれぞれから6単位、演習系科目群から22単位(必修22単位)、専門教育科目の学部共通専門科目群から28単位(必修4単位、選択必修8単位含む)、学科別専門科目群32単位(選択必修12単位含む)、全カテゴリーから20単位、合計126単位を修得させることとしている。 卒業の要件が記載された本学の学則はホームページ上に公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本学ホームページ上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/img/faculty/syllabus/01_course.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福知山公立大学
設置者名	公立大学法人福知山公立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/information/information06/
収支計算書又は損益計算書	http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/information/information06/
財産目録	
事業報告書	http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/information/information06/
監事による監査報告(書)	http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/information/information06/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:年度計画 対象年度:2019年度)
公表方法: http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/information/information11/
中長期計画(名称:中期計画 対象年度:2016年度~2022年度)
公表方法: http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/information/information11/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:「内部質保証の方針(平成28年11月24日制定)」の下、各事業年度の年度計画について自己点検・評価を行い、業務実績報告書として本学ホームページ上で公表。

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学ホームページ上で公表
http://www.fukuchiyama.ac.jp/img/about/information/information10/ninshohyoka_fukuchiyama.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域経営学部
教育研究上の目的（公表方法： 本学ホームページ上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/characteristics/ ）
<p>(概要)</p> <p>福知山公立大学の基本理念を、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」とする。</p> <p>この基本理念のもと、福知山公立大学は、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人材を育成し、北近畿地域をはじめとする地域における持続可能な社会の形成に寄与することを目的とする。</p> <p>そのため、基本構想に基づき、様々な地域課題の調査研究の実践を通じて、地域の将来を担う人材を育成するとともに、地域住民の自己実現を支援する「学びの拠点」を構築し、世界に貢献する開かれた大学の実現を目指すものとする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： 本学ホームページ上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/faculty/policy/ ）
<p>(概要)</p> <p>本学で学ぶ「地域経営学」とは、地域社会の営利・非営利のあらゆる継続的事業体・活動主体が地域社会のあらゆる資源を有効に企画・運営・管理することにより、地域社会づくりや創り直しに寄与する総合科学であり、活力のある「持続可能な社会」の形成に貢献する総合科学である。</p> <p>2 学科で構成する本学の「地域経営学部」は、福知山市をはじめとする北近畿および日本・海外の地域において活躍できる人財の養成を前提に、学んだ知識と国際的視野をもって地域社会や様々な現実の場で実践し応用できる人財（グローカリスト）、地域力の推進役（キーパーソン：リーダー、マネージャー、コーディネーター）として活躍できる人財を育てる。</p> <p>地域経営学科は、地域社会の多様な主体に関心をもち、企業活動の活性化、地域社会の再生・活性化等を目指して、多様な地域の継続的事業体の基本を学び、これを活用できる人財、とくに経営概念を主軸とした公共経営系、企業経営系、交流観光系に関する人財の育成を主要な目標とする。</p> <p>医療福祉経営学科は、診療情報管理士（日本病院会等の認定資格）の資格取得を目指しつつ、医療機関・福祉施設と企業経営との経営の共通性と相違性等を学び、将来はその経営に参画できる人財、医療福祉を通して地域に貢献できる人財の育成を主要な目標とする。学位授与は、学科が制定する下記の「学修アウトカムの定義」を基本に、その定義に合致した学修の成果が一定のレベルにあること、および学修者の取得単位が所定の単位数を超えていること、を確認して行う。</p> <p>《学修アウトカムの定義》</p> <p>●地域経営学科</p> <p>知識</p> <p>① 現代の社会経済、市場、あるいは地域内交流の場において、各主体の社会的役割を理解し、地域の問題や課題の発見につなげることができる</p> <p>② 世界の動きと連動させつつ、持続可能な社会の基本構造を理解し、地域社会における課題の分析に活用できる</p> <p>技能</p> <p>① 問題解決のための情報を適切かつ的確に収集・分析することができる</p>

- ② 地域のソーシャルデザイン、企業の事業活動、あるいは地域内外の交流の再生・活性化等につながるアクションプランを策定できる

遂行能力

- ① 関係者との連携体制を構築し、現実に即した多様なリーダーシップを意識して使い分けることができる
- ② 十分なコミュニケーション能力をもって、多様な意見・価値観を受け止め、効率的な組織運営に寄与することができる

総合的到達目標

- ① 現代社会における公共性を踏まえた共有すべき社会的価値を理解し、地域経営、企業、あるいは地域の交流観光に関する課題の提示あるいは問題の解決に向けた活動ができる
- ② 持続可能な社会の構造的理解に基づき、社会的連帯の実現、企業価値の向上、あるいは地域資源の適切な開発に資する実践的活動ができ、PDCA サイクルを活用できる

●医療福祉経営学科

知識

- ① 診療情報管理士受験に必要な知識、医療機関等の経営に資する知識を理解できる
- ② 地域医療福祉の基礎知識や持続可能な社会の基本構造を学び、地域医療福祉の重要性和役割を理解できる

技能

- ① 医療福祉機関、地域医療福祉等の課題を発見できる
- ② 課題解決のためのデータ収集・加工・分析的確に実施し、行動計画を提案できる
- ③ 医療職と非医療職間、医療福祉機関と地域住民等の専門知識の非対称性を緩和し、円滑な情報交換を支援できる

遂行能力

- ① 適切な情報を適宜発信し、関係者間の理解を深め、同意を形成できる
- ② 他の医療機関職間の共通言語を理解し、業務に活かすことができる
- ③ 組織経営、地域経営を円滑に進めるために、リーダーシップとパートナーシップを柔軟に使い分けることができる

総合的到達目標

- ① 医療福祉の知識や持続可能な社会の構造を理解し、地域医療福祉に関わる課題解決のためのアクションプランを策定できる
- ② アクションプランの実行と継続的評価・改善を目的として PDCA サイクルを活用できる

以上を踏まえ、卒業の学位は「学士（地域経営学）」とする。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： 本学ホームページ上で公表
<http://www.fukuchiyama.ac.jp/faculty/policy/>）

（概要）

ディプロマ・ポリシーに基づき、地域社会を支え、地域をつくり、地域を創り直し、そして地域の再生・創生に貢献できる人財、成熟した社会にふさわしく総合的で質的な発展となる持続可能な地域社会の構築に貢献できる人財、学んだ知識と国際的視野をもって地域社会や様々な現実の場で実践し応用できる人財（グローカリスト）を育てるため、下記の4つの側面からカリキュラムを編成し、座学と実践的学修を充実し、学修成果の向上を図る。

- ①時系列的に地域経営学の知見や知識を学び、「知」の総合化を図るカリキュラムの編成
 地域づくりや地域の創り直しには多様な主体との連携・協働が必要であり、合理的かつ効果的に推進するには、専門的な知見や知識の総合化（地域経営学）が必要である。そこで主として1～2年次には語学・教養科目（放送大学の活用含む）、2～3年次には学部共通科目、3～4年次には学科共通科目というように、時系列的に基礎から専門へと、幅広い教養と基礎学力を身につけ、地域経営という専門領域を体系的に学べるよう

に科目群を配置する。

→主な科目：語学・教養科目群、学部共通専門科目群（地域経営概論、経済学総論、経営学入門、多文化共生論、簿記論等の基礎的な科目から、経営管理論、地域資源論、地域医療福祉論等のやや専門的な科目へ）、学科別専門科目群（自治体法務政策、行政学等の基礎的な科目から、各系の推奨科目、診療情報管理士受験科目へ）

②持続可能な地域社会の構築やグローバルリスト育成のための特徴的な科目を配したカリキュラムの編成

環境共生的で活力ある公共・企業経営、安定した経済運営により、地域の人々が福祉の充実のもとで安心・安全・健康に生活できるような「持続可能な社会」の構築や「グローバルな生き方」の達成に向けて、特に学ばなければならない科目を配置する。

→主な科目：「持続可能な社会」論、環境学、社会保障論、地域協働論、地域イノベーション論、グローバル・ビジネス等）

③地域社会を支え、地域の再生・創生等に貢献できる人財、またその推進役（キーパーソン）として活躍できる人財を養成するために、地域の現場で地域の人々との協働を通じて地域の課題解決を図る、実践的学修を中心としたカリキュラムの編成

本学に特徴的な「フィールド研究重視の実践的教育システム」、「地域協働型教育研究」を全学・全学年で展開し、4年次の卒業論文につなげる。

→主な科目：演習系科目群（地域経営演習、地域経営研究、国際フィールドワーク、プロジェクト研究、等）

④専門領域別に、より高度な知識習得、学修成果の向上を図るカリキュラムの編成

地域経営学科では、公共経営、企業経営、交流観光に関する「推奨科目」を設けて専門領域別により高度な知識と実践対応力を高める。

医療福祉経営学科では、地域医療福祉に関わる診療情報管理士を目指す科目を重点的に配置するとともに、医学・栄養学等の基礎知識、地域医療機関等の経営に資する知識を広く学び実践的対応力を高める。

学部および2学科のカリキュラム内外に資格取得授業の充実を図るなどして、資格取得の支援を行い、実務能力の向上にもつなげる。

→主な科目：上記演習系科目群に加え、学科別専門科目群（とくに各系の「推奨科目」、診療情報管理士受験科目）、資格取得科目群（簿記論、工業簿記、社会調査論、臨床医学、診療情報管理論、等）

上記の座学および実践的学修の実施については、次のような学年別指針をもってあたる

初年次：

学びを体験する

（体験学修と教養学修の組み合わせおよびフィールドワークの基礎的知識の学修）

2年次：

学びを広げる

（学修者の関心にそった教養教育の提供、フィールドワークの基礎理論と分析手法の修得、地域の活動体験等を通じて、地域社会の課題の発見、分析、その解決に必要な手法を実践的に学ぶ）

3年次：

学びを深める

（演習等の学修グループによる特定の組織・団体等の課題を対象とするPBL(project-based

<p>learning：課題解決型学習）や地域協働型実践学修を実施する）</p> <p>4年次： 学びをまとめる （グループ単位での一定のまとめを行うとともに、卒業論文を個別にまとめることを重視する） 以上を踏まえ、本学のカリキュラムを策定する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： 本学ホームページ上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/faculty/policy/）</p>
<p>（概要）</p> <p>●教育理念 福知山公立大学は「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」を基本理念としています。そして、その理念の下、地域経営学部は、地域（ローカル）に根を下ろし、世界（グローバル）にはばたく人材（グローカリスト）育成をめざします。地域経営学部の各学科は、入学者受入れの方針を以下のように定め、学習意欲の高い学生を募集します。</p> <p>●地域経営学部・地域経営学科 本学科は、再生や変革を通して地域社会の活性化などに貢献する人材育成を目標とし、地域経営の基本を学び、それを社会で実践しようとする意思を持つ方、またはその可能性があるかと判断できる方を受け入れます。</p> <p>●地域経営学部・医療福祉経営学科 本学科は、認定資格である診療情報管理士の在学中の資格取得をめざし、医療機関・福祉施設の経営に参画する、あるいは医療福祉を通して地域に貢献する意思を持つ方、またはその可能性があるかと判断できる方を受け入れます。</p> <p>●大学入学までに学習しておくべき教科・科目等 福知山公立大学地域経営学部は、グローカリストの育成にあたり、幅広い教養と基礎学力を身に付けていることを求めます。そのため、大学入学までに学習しておくべき教科・科目等については、特定の教科に偏ることなく学習し、すべての教科における基礎的な学力を望みます。また、資料や文章を読む力やその理解を表す力などの基本的なコミュニケーション能力の習得も望みます。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学ホームページ上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/organization/</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
地域経営学部	—	12人	8人	人	3人	0人	23人
新学部設置準備室	—	1人	0人	1人	0人	0人	2人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		19人					19人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学HP上で公表 http://www.fukuchiyama.ac.jp/faculty/prof/prof-list/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教員の教育研究に関する研修を実施した。研究に関しては研究倫理、科研費獲得に向けた研修などを実施し、教育に関しては、アクティブラーニング型授業に関する外部講師による研修等を実施した。他にも内部統制研修、最新の就職活動事情に関する外部講師の研修、ハラスメント研修、個人情報に関する研修、SNSの利用及び情報セキュリティ研修なども実施し、教員の資質向上に努めた。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域経営学部	120人	132人	110%	424人	469人	110.6%	7人	7人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	120人	132人	110%	424人	469人	110.6%	7人	7人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域経営学部	28人 (100%)	0人 (0%)	19人 (68%)	9人 (32%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	28人 (100%)	0人 (0%)	19人 (68%)	9人 (32%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 株式会社紀陽銀行、株式会社但馬銀行、公益財団法人浅香山病院、福岡トヨタ自動車株式会社、株式会社PLANT 等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
地域経営学部	36人 (100%)	20人 (56%)	3人 (8%)	13人 (36%)	0人 (0%)
合計	36人 (100%)	20人 (56%)	3人 (8%)	13人 (36%)	0人 (0%)
(備考) 上記は、成美大学（私立大学）の最後の入学生であり、2016年度の公立化に伴い退学者が続出したことにより中途退学者数が増加している。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>本学は Semester 制を採用し、授業は前学期 15 週（4 月 1 日～9 月 30 日）、後学期 15 週（10 月 1 日～翌 3 月 31 日）の半期科目と集中授業科目で構成している。</p> <p>授業は、「講義」「演習」「実験」「実習」「実技」に区分し、いずれに該当するかはシラバスに明記している。</p> <p>授業科目の 1 単位は 45 時間の学修を必要とするものをもって構成することを標準とし、講義は 15 時間の授業をもって 1 単位、演習は 15 時間から 30 時間の授業をもって 1 単位としている。なお 1 時間の授業に対して 2 時間の自主学習を前提としている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
卒業の認定にあたっては、学則に規定している在学すべき年数とカテゴリーごとの卒業に必要な単位の要件を満たした上で、合計 126 単位以上を修得した者について、教授会が卒業資格を認定し、学長が学位を授与している。（再掲）				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
地域経営学部	地域経営学科	126 単位	有	1 年次：40 単位 2 年次：44 単位 3 年次：46 単位 4 年次：46 単位
	医療福祉経営学科	126 単位	有	1 年次：40 単位 2 年次：44 単位 3 年次：46 単位 4 年次：46 単位
GPA の活用状況（任意記載事項）		公表方法： 履修登録単位数の変動について（変動型 CAP 制度） http://www.fukuchiyama.ac.jp/img/faculty/syllabus/03_registration.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法： 地域協働型実践教育 2018 年度成果報告書 http://www.fukuchiyama.ac.jp/img/report/2018/2018_report01.pdf 在学生インタビュー http://www.fukuchiyama.ac.jp/campus/interview/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学 HP 上での公表

http://www.fukuchiyama.ac.jp/about/campus_map/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
地域経営 学部	地域経営 学科	535,800円	282,000円	40,000円	その他は実践教育実習費である。
	医療福祉 経営学科	535,800円	282,000円	40,000円	その他は実践教育実習費である。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要) 本学では毎学期始めのオリエンテーションにおける教務ガイダンスにて、教務委員会より、履修登録の方法やテキスト販売についての全体説明が行われた後、PC教室においてwebシステムにより履修登録を行っている。履修登録を行う際には教務委員及びゼミ担当教員が教室に常駐し、質問等に常に対応できる体制をとっている。

また、学年ごとに割り当てられた学年担任、ゼミ担当、教務・学生支援・キャリア支援を担当する職員と連携を取りながら、多面的に個々の学生を把握し、きめ細やかな指導を行っている。

障がい学生に対する支援は、施設面での援助として、階段の手すり、身障者用トイレ、講義室における車椅子用の机あるいはスペースを設けて対応している。本学の校舎は「京都府福祉のまちづくり条例」(1995年制定)によるバリアフリーの基準を満たしている。

奨学金については、「独立行政法人日本学生支援機構」の奨学金をはじめとした各種奨学金の募集に対して年度始めのオリエンテーション期間内に説明会を設け、広く周知し、随時、推薦を行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要) キャリアサポート室を設置し、キャリアカウンセラー資格を有する専任職員が担当している。キャリアカウンセラー職員と教員と構成するキャリアサポート委員会と各ゼミ担当教員が三者で連携を取りながら、小規模校ならではの学生に寄り添ったきめ細やかなキャリア支援を行っている。全員の個別面談・各種キャリアセミナー・学内企業説明会・インターンシップなどを実施しながら、学生個々に応じたキャリア形成を図っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要) 入学時の提出書類の1つとして「健康調査票」に心身の健康状態を自己申告する記入欄を設け、学生の健康状態を入学段階で把握している。本調査票はカウンセラーのチェックを経ることで、配慮が必要と判断される学生については学生委員会にて個別対応が検討された後、担任や授業担当者とも連携・協力しながら支援を行っている。

また、月2回の臨床心理士によるカウンセリングルームを開設し、心身の健康保持・増進に配慮している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学 HP 上での公表

地域協働型実践教育報告書

http://www.fukuchiyama.ac.jp/img/report/2018/2018_report01.pdf